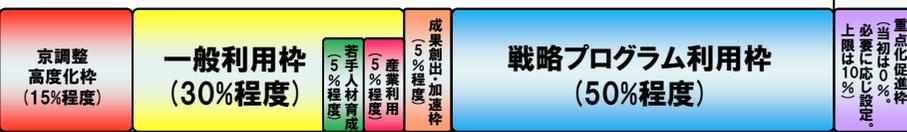


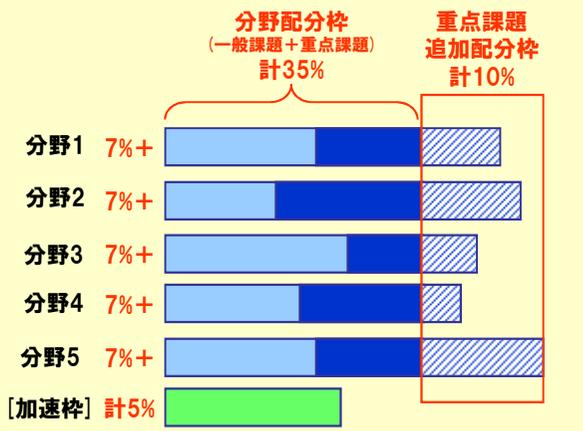
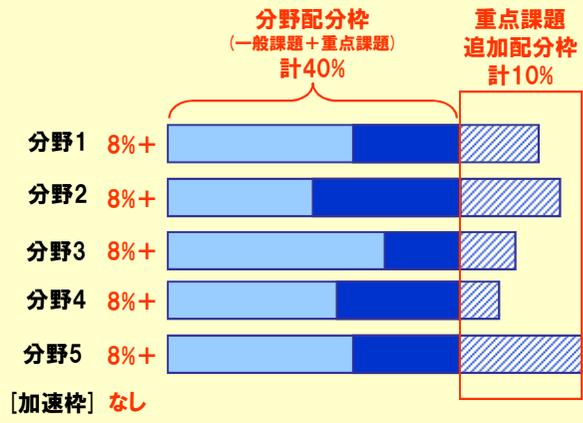
戦略プログラム推進委員会
(第6回、H24.11.28)にて決定

「京」の利用枠

利用可能な資源



【平成25年度 戦略プログラム利用枠】 分野配分枠、重点課題追加配分枠（通年）、 加速枠（下期）を設定



●分野配分枠 (分野別作業部会での審議を経て一般課題と重点課題に配分)

- 各分野に均等配分。(分野あたり上期8%、下期7%)
- 各分野において、分野別作業部会での審議を経て、重点課題(2課題程度)および一般課題を設定し、各課題への資源配分案を作成する。

<重点課題>

- 重点課題は、画期的な科学的成果、または、社会的課題の解決に資する成果が見込まれる課題で、計算資源を重点的に配分する研究課題を指す。
- 各分野における重点課題数の上限は、各分野の研究開発課題数の半分以上とする。
- 重点課題は、他の一般課題よりジョブ実行の優先度が高くなるよう、設定において配慮する。

●重点課題追加配分枠 (推進委員会での審議を経て重点課題へ追加配分)

- 各分野で設定された重点課題について、科学的意義や社会的意義も踏まえ、分野配分枠の計算資源に追加で配分することで、優れた成果が着実に創出されることが期待される課題に対して追加配分。(通年)(上期10%分、下期10%分)
- 各分野からの提案を受け、外部有識者を含めた推進委員会にて審議し、配分を決定。

●加速枠 (下期のみ計5%分を配分)

- 利用実績に基づいて、成果創出を加速させるために資源を配分。(下期のみ計5%分)
- AICSにて策定した運用の立場から見た客観的指標(課題毎の計算資源消費状況、計算規模、実行効率等)を基に、AICSが全研究開発課題の利用実績情報および対象課題案を提出し、文部科学省において各戦略機関に状況を確認しつつ、加速枠の資源配分案を取りまとめる。
- 推進委員会での審議を経て、加速枠資源を配分する課題を決定。

戦プロ加速枠の資源配分フロー

戦略プログラム推進委員会
(第5回、H24.10.31)にて決定

